

平成25年度 入札監視委員会議事概要

北海道防衛局・帯広防衛支局

開催日及び場所	平成25年 7月 3日(水) 北海道防衛局 4F 共用会議室	
委員	阿座上委員長(地域経済研究所 理事長) 神谷委員(札幌医科大学 客員教授) 菊地委員(北海商科大学 教授) 木下委員(公認会計士) 津田委員(弁護士) (50音順)	
審議対象期間	平成25年2月1日 ~ 平成25年3月31日	
審議対象件数	49件	
1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)		
抽出件数	総件数10件	(審議概要)
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)	1件
	一般競争(政府調達協定対象外)	6件
	公募型指名競争	0件
	指名競争	0件
	企画競争	0件
	随意契約	0件
建設コンサルタント業務等	3件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問	回答
	<p>【指名停止状況説明】 (特になし)</p> <p>【低入札状況説明】 (特になし)</p> <p>【抽出案件】 ○建設工事等 (政府調達協定対象)</p> <p>a[東千歳(24)隊舎新設等(1工区)建築工事]</p> <p>・落札率が低いようだが、なぜか。</p> <p>・既設建物や古い建物の補修や建替ではなく、全くの新設なのか。</p>	<p>・WTO(大型事案)であり、入札参加者も多かったので、競争の結果と思われる。</p> <p>・建替である。</p>

意見・質問	回答
<p>・予定価格自体は、市況の変化に対応しているのか。</p> <p>○建設工事等 (政府調達協定対象外)</p> <p>b[当別(24)燃料貯蔵施設土木その他工事]</p> <p>・燃料貯蔵施設を施工できる業者数は少ないのか。</p> <p>・平成19年度における受注者と今回の受注者は同一か。</p> <p>・予定価格を作成する上で、入札参加者である(株)東海テックから見積りを徴収したか。</p> <p>・発注金額としてはCランク業者が募集対象となるようだが、Cランク業者はどれくらいいるのか。</p> <p>・タンク本体の規模と作り方はどのようなものか。</p> <p>c[北千歳(24)空沢洗浄施設改修土木その他工事]</p> <p>・予定価格は見積りによるものか。</p> <p>・土木一式で発注したのか。</p> <p>・土木一式工事ではあるが、業者によっては工事分野に得意不得意があり、不得意分野については下請外注となることから、入札参加者が少なかったことは考えられるか。</p> <p>d[日高(24)法面等整備土木その他工事]</p> <p>・工事の内容はどのようなものか。</p>	<p>・積算価格については、積算する時点の資材価格等を用いて積算しており、市況の変化に対応している。</p> <p>・平成19年度に同じようなタンクの工事を発注した際においても1者応札となっており、タンクの工事実績を持つ業者数は少ないと思われる。</p> <p>・異なる者である。</p> <p>・タンク本体の製缶工事等の見積りを3者から徴収しており、そのうちの1者が(株)東海テックである。</p> <p>・札幌及び石狩振興局管内において土木一式のCランクは31者ある。</p> <p>・規模は、直径約6m、高さ約6mであり、鋼材を工場加工し、現地で組み立てるものである。</p> <p>・洗浄施設の機器類については見積りを徴収し、それ以外については当省の積算要領にのっとり積算している。</p> <p>・そうである。</p> <p>・本工事には、屋外給水管工事が含まれており、この工種を得意としない業者は入札参加して来なかったと考えられる。</p> <p>・日高分屯地において崩壊した法面の復旧と土砂流出防止とし</p>

	意見・質問	回答
	<p>e[南恵庭外(24)整備場新設等機械工事]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工体制確認のヒアリングを辞退する一般的な理由は何か。 ・ ヒアリングを行うと大抵辞退するものなのか。 ・ 提出を求められる追加資料はなぜ多くなるのか。 ・ 施工体制評価点がゼロ点の者がいるが、なぜそのようになったのか。 <p>f[名寄(24)保管庫新設等建築工事]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本事案は、公告3回目にして落札に至ったとのことだが、どのような経緯だったのか。 ・ 予定価格の積算に問題があるのではないか。 予定価格をもう少し市場価格に近づける研究をする必要があるのではないか。 	<p>て砂防ダムを設置する工事である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札金額が調査基準価格を下回った場合、業者に対し、追加資料の提出を求めることとなるが、追加資料作成に係る作業量が多くなることなどから、ヒアリングを辞退する業者がいると思われる。 ・ 辞退する者もいれば、追加資料を作成しヒアリングを受ける者もあり、それぞれである。 ・ 施工体制確認型総合評価方式は、ダンピング受注による品質低下を防ぐため導入した制度であり、その入札金額の妥当性を確認するための調査なので、材料、下請け、労務者等、全てのものを確認する必要があることから、調査項目は多く、資料作成に係る作業量は多くなると思われる。 ・ 施工体制確認のため、資料調査とヒアリングを行い履行の実行性を確認した結果、明確な回答が得られなかったためである。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 当初Cランクで公告し、3者の応募があったが、不調となった。 2回目は、ランクをB及びCにして公告したところ、1者の応募があったが、不調となった。 3回目は、ランクをA、B及びCにしたところ、1者の応募があり、落札となった。 ・ 3回目の公告に際しては、当局の積算価格と応札者の入札価格が乖離していた工種について、入札参加希望者からの見積りの提出を求め、ヒアリングを通じ見積りの妥当性を確認し、予定価格の参考とした。

	意見・質問	回答
	<p>g[遠軽(24)保管庫新設建築その他工事]</p> <p>(特になし)</p> <p>○建設コンサルタント業務等 (政府調達協定対象外)</p> <p>h[名寄外(24)設備工事監理業務]</p> <p>・一つの公告において、2回入札を行っているが、不調になるのはどのような場合なのか。</p> <p>i[千歳(24)土木工事監理業務]</p> <p>・1者応札となった理由は何か。</p> <p>j[網走(24)設備工事監理業務]</p> <p>・業者を地元から集められないか。</p>	<p>・入札回数は原則2回としており、数回入札しても予定価格と入札金額の差が大きい場合や途中で参加者が辞退してしまった場、不調になる。</p> <p>・本業務は、2名の常駐を必要条件としているため、技術者の確保が難しかったのではないかとと思われる。</p> <p>・地元にもコンサル会社はあるが、技術者の数も少なく小規模であり、当支局の募集に対しては、ある程度技術者を抱えている札幌や帯広管内に支店等を持つ者が参加してくるものと思われる。</p>
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・特になし	

2. 談合疑義案件(内訳明細書の点検結果疑義)の処理状況について

談合疑義件数		一件	(審議概要)
工事	談合情報	一件	・該当案件なし
	点検結果疑義	一件	
業務	談合情報	一件	
	点検結果疑義	一件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		意見・質問 ・特になし	回答
委員会による意見の具申又は勧告の内容		・特になし	

3 入札結果の事後的統計について		
審 議 概 要	・ 順位傾向、落札率、応札率及び低落札について説明	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意 見 ・ 質 問	回 答
	・ 特になし	
委員会による意見の具申又は 勧告の内容	・ 特になし	